

日本労働年鑑 第57集 1987年版
The Labour Year Book of Japan 1987

第三部 労働組合の組織と運動

VI 国際労働組合運動

概況

一、一九八五～八六年の時期には、日本の労働組合組織が国際自由労連とITSとに加盟するという傾向がつづいている。電機労連、全日通の国際自由労連加盟につづいて、全石油、全国ガス、全日本ゴム労連が加盟した。ITSについては、全水道がPSIに、全印刷がIGFにそれぞれ加盟した。

一、国際自由労連・国際産業別組織系の国際労働組合会議として注目されるのは、つぎのとおりである。

IGF総会(八五年九月)、PTTI第二五回大会(八五年九月)、IMF青年失業にかんする会議(八五年一〇月)、IFFTUアジア地域会議(八五年一〇月)、ICEFエネルギー産業部会世界総会(八五年十一月)、ICEF紙パルプ産業部会世界総会(八五年十一月)、国際公務員労連PSI世界大会(八五年十一月)、TWAROアジア繊維第八回大会(八五年一二月)、ICFTU第八八回執行委員会(八五年一二月)、ITS総会(八六年一月)、東京先進国労組指導者会議(八六年四月)、アジア地域国際セミナー(八六年五月)、ICFTU第八九回執行委員会(八六年五月)、ITF第三五回大会(八六年七月)、ICEFガラス産業部会世界総会(八六年八月)、ICFTU・APRO青年集会(八六年九月)、ICFTU国際婦人セミナー(八六年一〇月)、第五回APRO・FIET大会(八六年一〇月)、第一回FIET世界商業労働者会議(八六年一〇月)、第五回アジア・太平洋公務労組会議(八六年一〇月)、ICFTU第九〇回執行委員会(八六年十一月)。

一、世界労連系の国際労働組合会議として注目されるのは、世界労連ME円卓会議(八五年九月)、世界労連第三七回総評議会(八五年一〇月)、第九回国際運輸港湾漁業労働組合大会(八五年一〇月)、世界労連公務インター・アジア・太平洋地域労組会議(八五年一二月)、第二回軍縮の社会的・経済的諸側面にかんする世界労働組合会議(八六年五月)、アジア・太平洋地域印刷労組会議(八六年五月)、第六回国際印刷労組協議会総会(八六年五月)、アジア自由貿易地域にかんする地域会議(八六年五月)、第一一回世界労働組合大会(八六年九月)などであった。

一、国際自由労連、世界労連のいずれにも属さない国際労組会議としては、国際中等教員団体連合第五五回大会(八五年七月)、同第五六回大会(八六年七月)、第一〇回世界教職員団体総連合アジア南太平洋地域会議(八五年八月)、太平洋労組フォーラム第四回会議(八六年五月)、第三一回世界教職員団体総連合代議員総会(八六年八月)、平和のための教師たちのつどい(八六年八月)などがあつた。

■←前のページ 日本労働年鑑 1987年版(第57集)【目次】次のページ→■
日本労働年鑑【総合案内】

法政大学大原社会問題研究所(<http://oisr.org>)
